

---

---

# 教育総合センター

## だより

NO. 127

平成 25.3.1

---

---

### 『教』と『育』

学校教育部

部長 幾田 喜憲



平成22年秋、およそ30年ぶりに常用漢字表が改定された。社会の情報化の進展に伴って196字の追加とともに、28字の音訓の追加があった。その漢字の中に「えっ！今まで勘違いしていたぞ」と慌てた「字」があった。

それは「育（はぐくむ）」である。ずっと、常用漢字だとばかり思いこんでいた。育（はぐくむ）とは「羽包（はぐく）む」。つまり親鳥がひな鳥を羽でおおい包むことからできた言葉だそうである。「育」の中には、養い育てる、世話をすることだけを指すのではなく、温かく守り包むことが含まれている。誠に言い得ていると感じ、好きな言葉の一つである。

では、「育」の字とくればやはり「教」。「教」という字は、私たちにとって大事な字である。どんな意味を持った漢字か興味をひかれたので少し調べてみた。

「教」の部首は『攴』（ぼくづくり）といい、「撲」と同義同音で「打つこと」を意味している。左側の『孝』は、教える者と習う若者とのまじわりの意味から、大人と子どもが問答をして、ものを教えることを表している。

このことから、「教」とは、大人が、厳しく若者や子どもを鍛えることを指している。

まさに『教と育』の2文字は教育の不易の部分を言い当てている。「教」のような覚悟で子どもに接するとともに、「育」のように、親鳥がひなを育てる時の羽でくるむような温かさがあるこそ、よい教育が可能となるのではないか。「教」の強さと深さ、「育」の優しさと広がりこそが、教育の要諦であろう。

また調べている中で、『日本国語大辞典』（小学館）「育（はぐくむ）」の頁には、次のような歌が引用されていた。

『旅人の 宿りせむ野に 霜ふらば 吾が子羽（は）ぐくめ 天（あめ）の鶴群（たづむら）』（万葉集第9巻）。

天平5年（733年）遣唐使の船が難波を出発して海に浮かんだ時に、ある母親が子に贈った歌である。注釈には、「旅人が仮寝する野に 霜が降ったら わが子を羽でかばっておくれ 天の鶴の群れよ」とある。きっと立派な期待される子であろう。それでも旅立つ子を心配する親の情は1300年前もいっしょであり、天空の鶴の群れにさえ祈るその気持ちに胸うたれる。

漢字は、奥深く物事の確信を表わしている場合がままある。教育の根本は人であり、伝えようとする厳しさと育てる温かさは、千年の昔より、何ら変わることはないことを示しているようである。

## 近畿地区教育研究（修）所連盟研究発表大会に参加して

### 1 はじめに

平成 24 年 10 月 19 日滋賀県総合教育センターに於いて近畿地区教育研究（修）所連盟研究発表大会が開催されました。

本連盟は、所長会（総会及び研究発表大会）と研究部会（8 部会による研究協議及び報告等）から構成され、近畿地区所在の研究（修）所相互の連絡協力と研究の成果をあげることがを目的としています。

### 2 内 容

#### (1) 行政説明

「中央教育審議会答申を踏まえた教育委員会と大学との連携・協働による教員の資質能力向上について」をテーマに文部科学省初等中等教育局教職員課改革推進係長 小泉 武士氏から 現状と課題、改革の方向性、当面の改善方策（「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」平成 24 年 8 月 28 日中央教育審議会答申）等の説明がありました。

#### (2) 記念講演

「里山と琵琶湖」- 滋賀県の豊かな環境に育まれて - をテーマに写真家 今森 光彦氏が、自らの体験や琵琶湖から見る全国の問題、最近の親と子どもとの関わり方等について話されました。

#### (3) 研究発表

5 会場に分かれ 15 本の研究発表が行われました。その一部を紹介します。

京都府総合教育センターからは「質の高い学力をはぐくむ学習指導案ハンドブック」- 学校の授業改善を支援する取組として - をテ

ーマに報告がありました。指導案に関する具体的なマニュアル（京都府総合教育センターホームページ京育ナビ参照）を作成することで、一貫性のある指導助言や目標、評価規準等の基本的理論が浸透しているという内容でした。

兵庫県立教育研修所からは「児童生徒の連続的な学びにつなげる小中連携の在り方」をテーマに報告がありました。アンケートの調査結果を鑑み、実践内容や実態、望ましい方策等についての説明（県立教育研修所ホームページ内 H23 研究紀要参照）がありました。

### 3 研究発表会を終えて

行政説明では、教員養成の改革として、教員養成を修士レベル化し、教員免許が「基礎免許状」「一般免許状」「専門免許状」に改革する方向性が示されました。「一般免許」取得に係る初任研と連携・融合する案もあり、今後の動向にも注目したいと考えます。

また、研究報告では多くの有用と思われる情報が発信されました。本センターの研修及び指導助言への活用、あるいは学校への情報提供としても大いに参考になると考えます。

今回、文部科学省の動向や各教育研究（修）所の研究に触れることができ、教育総合センターからも、研修及び研究を通して、情報発信することの重要性について再確認することができました。教育現場では様々な課題があり、今後も解決へ向けた情報発信ができるよう励んでいきたいと思ひます。

（研修担当指導主事 寺田 忠司）



## みんなの特別支援教育を目指して

### 1 生き生きとした表情

本年度も、特別支援学級の研究授業を参観する機会が幾度がありました。授業を参観すると、いつも楽しく温かい気持ちにさせられます。それは、どの子どもたちも笑顔で生き生きとした表情をしているからです。

しっかりと好きな食べ物や楽しかった出来事を発表する子どもたち。1年生に紙芝居を聞かせたり、手作りのゲームを提供する子どもたち。ボーリングゲームをしながら、計算に取り組む子どもたち。身振り手振りをつけて、大きな声で劇のセリフを言う子どもたち。等々、自分の課題に取り組むとともに、友だちをフォローしたり励ましたりする姿がありました。どの子どもたちも、活動をしっかりと楽しんでいました。子どもたちが、このように生き生きとした表情で活動できるのはどうしてでしょうか。

### 2 魔法の言葉

授業を参観していると、「みんなの方を見て言えたね。」「おしゃべりしないで待たね。」「いい返事だね。」といった子どもたちへの声かけを多く聞くことができます。また、「目を見て発表します。」「今からルールについて話します。」のように、具体的な指示や見通しを示す声かけもあります。そこには、子どもたちが笑顔を浮かべ、活発に活動に取り組む姿や、真剣に話を聞く姿が見られます。

「子どもたちにとって、わかりやすい言葉で明確な指示」「子どもに迷いのない指示」「端的な説明」等は、「今、何をするのか」を明確にし、子どもたちの学ぶ意欲を高めることにつながります。子どもたちが笑顔になり、生き生きとした表情で学校生活が送れるように

なる「魔法の言葉」をたくさん持っていたいものです。

### 3 居心地の良い場所

「子どもたちが生き生きとした表情で活動できる」ためには、「魔法の言葉」が大きな効力を発揮します。「みんなの方を見て言えたね。」「おしゃべりしないで待たね。」「いい返事だね。」のように、自分の行動を認められ、プラスの評価を受けることは、子どもたちにとっては自信を持ち、自分を好きでいられる源となります。自分を認め、自分を好きになれるということは、時には自分を励ましたり、失敗を許したりできる力でもあります。自尊感情を高め、有能感を育てる力が、これらの「魔法の言葉」にはあります。

「魔法の言葉」を介して、先生と子どもたち、そして子どもたち同士が温かく繋がり、学級が子どもたちにとって認められる場所、居心地の良い場所、存在感のある場所になっているのです。これが、「生き生きとした表情で活動できる」大きな理由ではないでしょうか。



### 4 みんなの特別支援教育を

認められること、褒められること、自分の伸びを実感できることは、障害の有無にかかわらず、全ての子どもたちが望んでいることであり、保護者も含め教職員の願いでもあるとともに責務でもあると考えています。

「一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う」という特別支援教育の視点を生かした教育実践が望まれています。

(特別支援教育担当係長 中井正人)

## 教育情報コーナーへどうぞ

教育情報コーナーでは、先生方に利用していただきたい本や資料、雑誌等を整備しています。ぜひお気軽にお立ちより下さい。

今回は来年度に向けて、学校生活に役立つ本をご紹介します。  
春休みにいかがでしょうか、貸出しもできますのでぜひご利用ください。

(情報コーナー担当・幾田)



### \*今、学校にはいろいろな困難な状況が。危機管理には、リーダーシップが重要！

『学校リーダーシップ養成講座～現場対応力』	星 幸広著
『学校管理職のための問題解決Q & A』	寺崎千秋著
『Q & A 学校災害対応ハンドブック』	学校災害対応ハンドブック 編集委員会編
『行為障害と非行のことがわかる本』	小栗正幸著

### \*学級づくりこそあらゆる学校生活の基本。年度初めは大きなチャンス！

『中学校・学級担任のための～まるごと中学生』	安藤聖子編
『必ず成功する！学級づくりスタートダッシュ』	大前暁政著
『学校運営・学級経営のチェックポイント55』	劔持 勉著
『小学校若手教師の学級経営テキスト』	寺崎千秋著
『中学校若手教師の学級経営テキスト』	寺崎千秋著

### \*規律のある授業をするためにはどうしたらいいのでしょうか？

『規律ある授業の作り方』	富山一美著
『確かな学力が身に付く学習のしつけ』	鹿児島市立田上小学校著
『誰でも成功する発問のしかた』	加藤辰雄著
『誰でも成功する授業での説明・指示のしかた』	加藤辰雄著
『授業改善のチェックポイント60～学習指導の実際と学習規律の具体化』	劔持 勉著

### \*児童生徒理解にコーチングを有効に使ってみましょう。

『教師のための子どもが動く！コーチング50』	神谷和宏著
『図解 先生のためのコーチングハンドブック』	神谷和宏著
『教師のコミュニケーション力を高めるコーチング』	千々布敏弥著
『子どもの心のコーチング～親にできる66のこと』	菅原裕子著